

梅垣邦胤教授略歴

学歴

1944 年 1 月 27 日生まれ

京都市出身

京都市立松ヶ崎小学校，京都市立下鴨中学校，京都府立洛北高等学校卒業

京都大学経済学部—1963 年 4 月入学，1969 年 3 月卒業

京都大学大学院経済学研究科修士課程—1972 年 4 月入学，1974 年 3 月修了

京都大学大学院経済学研究科博士課程—1974 年 4 月入学，1977 年 6 月単位取得，満期退学

学位 京都大学博士（経済学—論経博第 134 号）

職歴

日本学術振興会奨励研究員—1977 年 7 月～1978 年 3 月

京都大学研修員—1977 年 7 月～1979 年 3 月

下関市立大学専任講師—1979 年 4 月～1980 年 3 月

下関市立大学助教授—1980 年 4 月～1987 年 3 月

下関市立大学教授—1987 年 4 月～1999 年 3 月

下関市立大学教務部長—1996 年 4 月～1998 年 3 月

名城大学商学部教授—1999 年 4 月～2000 年 3 月

名城大学大学院商学研究科修士課程 M ○教授—1999 年 4 月～2000 年 3 月

名城大学経済学部教授—2000 年 4 月～

名城大学大学院経済学研究科修士課程 M ○—2000 年 4 月～

下関市立大学名誉教授—2000 年 6 月

名城大学経済学部長—2001 年 4 月～2005 年 3 月

名城大学大学院経済学研究科長—2001 年 4 月～2005 年 3 月

名城大学評議員—2001 年 4 月～2005 年 3 月および 2007 年 4 月～2011 年 3 月

名城大学大学院経済学研究科博士後期課程 D ○—2002 年 4 月～

大学基準協会相互評価委員会委員—2005 年 4 月から断続的に 2014 年 3 月まで

梅垣邦胤教授業績

[著書]

(1) 単著

1. 『資本主義と人間自然・土地自然』（勁草書房，1991 年）
2. 『経済システムと人間自然・土地自然』（勁草書房，2008 年）

(2) 共著

1. 池上惇編著『現代世界恐慌と資本輸出』（青木書店，1973 年。第 4 章 -1「新しい従属」の展開過程を執筆）
2. 島恭彦監修『講座 現代経済学 2』（青木書店，1978 年。補論 大工業と農業を執筆）
3. 平野喜一郎他編『経済原論』（青木書店，1982 年。第 5 章 相対的剰余価値の生産 を執筆）
4. 下関市立大学エネルギー経済研究会編『エネルギー問題の再検討』（九州大学出版会，1986 年。第 8 章 日本における石炭と国家統制 を執筆）
5. 柿本国弘他編『現代日本経済論』（青木書店，1988 年。第 4 章 日本経済と資源・エネルギー を執筆）
6. 池上惇・森岡考二編著『日本の経済システム』（青木書店，1999 年。第 8 章 現代日本の資本と土地所有 を執筆）
7. 平野喜一郎編『はじめて学ぶ経済学』（大月書店，2005 年。第 3 章 これからの経済学—共生の経済学からユートピアへ—を執筆）

[論文]

1. 資本主義における土地所有—「土地所有論」のための準備ノート（京都大学大学院経済学研究科修士論文，1974 年）
2. 差額地代論における資本主義的土地所有の形成（京都大学経済学会『経済論叢』第 118 巻第 3・4 号，1976 年 9・10 月）
3. 資本主義的土地所有の確立過程（京都大学経済学会『経済論叢』第 119 巻第 1・2 号，1976 年 9・10 月）
4. 資本制生産様式と人間自然・土地自然（京都大学経済学会『経済論叢』第 119 巻第 4・5 号，1977 年 4・5 月）
5. 超過利潤論（京都大学経済学会『経済論叢』第 121 巻第 1・2 号，1978 年 4・5 月）
6. 資本の生産力（京都大学経済学会『経済論叢』第 123 巻第 6 号，1979 年 6 月）
7. 社会的価値と個別的価値（阪南大学『阪南論集』1979 年 3 月，第 14 巻第 5 号）

8. 研究ノート「商品＝非直接的交換可能性」について（『下関市立大学論集』第23巻第1号，1979年7月）
9. 商品生産関係と価値形態（『下関市立大学論集』第24巻第1号，1980年7月）
10. 貨幣の資本への転化（上）（『下関市立大学論集』第24巻第2号，1980年11月）
11. 貨幣の資本への転化（下）（『下関市立大学論集』第24巻第3号，1981年3月）
12. 本源的蓄積（『下関市立大学論集』第25巻第2号，1981年9月）
13. 商品生産と資本制（『下関市立大学論集』第26巻第2号，1982年9月）
14. 商品生産と資本制—補遺—（『下関市立大学論集』第26巻第3号，1983年1月）
15. 「自己労働にもとづく所有」と資本制（『下関市立大学論集』第27巻第2号，1983年9月）
16. 資本制と土地所有（『下関市立大学論集』第28巻第2号，1984年9月）
17. 資本制と価値規定（『下関市立大学論集』第30巻第2号，1986年9月）
18. 研究ノート『資本論』における「歴史的範疇」について（『下関市立大学論集』第33巻第2号，1989年9月）
19. 資本主義と人間自然・土地自然—商品・資本・土地所有の経済学—（京都大学博士・経済学学位論文，1992年11月）
20. 『資本論』における一般的・歴史的範疇について（京都大学経済学会『経済論叢』第157巻第1号，1996年1月）
21. 擬制資本と投機（『下関市立大学論集』第40巻第1・2号，1996年11月）
22. 産業循環と「生産＝消費」(1)（『下関市立大学論集』第42巻第2号，1998年11月）
23. 産業循環と「生産＝消費」(2)（『下関市立大学論集』第42巻第3号，1999年3月）
24. 資本主義の「極限の発展＝未来社会への移行」について（基礎経済科学研究所『経済科学通信』第89号，1999年3月）
25. 産業循環と「生産＝消費」(3)（名城大学商学会『名城商学』第49巻第3号，1999年11月）
26. 研究ノート・産業循環論の方法について（『名城商学』第49巻第4号，2000年3月）
27. 産業循環と「変動」（名城大学経済・経営学会『名城論叢』第1巻第2号，2001年3月）
28. 『資本論』における「閉ざされた空間」について（『名城論叢』第4巻第4号，2004年3月）
29. 研究ノート・『資本論』における「空間」について（『名城論叢』第5巻第4号，2005年3月）
30. 景気の転換点を規定する要因について（名城大学総合研究所『紀要』2005年5月）

31. 研究ノート・K・マルクス『1857—58年の経済学草稿』における非資本主義的範疇について（『名城論叢』第10巻第3号，2009年11月）
32. 研究ノート・K・マルクス『資本論』における非資本主義的範疇について（『名城論叢』第12巻第1号，2011年7月）

〔その他〕

(1) 学会報告

1. 貨幣の資本への転化（経済理論学会第30回大会，一橋大学，1982年）
2. 資本主義と人間自然・土地自然（経済理論学会第34回大会，明治大学，1986年）
3. マルクスにおける人間自然・土地自然（経済理論学会第38回大会，神奈川大学，1990年）
4. 『資本論』と歴史変革（経済理論学会第43回大会，慶応義塾大学，1995年）
5. アダム・スミス，マルクスの経済学における文化（文化経済学会大会，2000年6月）
6. 資本主義と民族（基礎経済科学研究所研究大会，2000年9月）
7. 産業循環と「生産＝消費」（経済理論学会第48回大会，高知大学，2000年10月）
8. 『資本論』における「閉ざされた空間」について（経済理論学会第53回大会，大東文化大学，2005年10月）
9. 地域・人間発達・『資本論』（基礎経済科学研究所研究大会，2007年9月）
10. 宮崎駿と人間自然・土地自然（基礎経済科学研究所研究大会，2009年3月）

(2) 書評

1. 向井・池上他編『現代福祉経済論』（京都大学生協同組合院生理事会『創意』，第6号1978年7月）
2. 上野俊樹『経済学とイデオロギー』（『経済』，第221号，1982年9月）
3. 柿本他編『現代日本経済論』（『下関市立大学広報』，1988年5月）
4. 尾崎義治『経済学と歴史変革』（『下関市立大学論集』，第34巻第3号，1991年1月）
5. 吉田傑俊『現代民主主義の思想』（『日本の科学者』，第286号第11号，1991年11月）
6. 産業構造研究会編『現代日本産業の構造と動態』（『名城論叢』第1巻第1号，2000年9月）

(3) 公開講座・委託研究

1. インフレと私たちの生活（第2回下関市立大学公開講座，1981年10月）
2. 日本経済における集団主義と個人主義（第8回下関市立大学公開講座，1991年10月）
3. 平成期の景気と私たちの生活（第13回下関市立大学公開講座，1996年10月）

4. 委託調査『下関市内の企業における高齢者雇用と就業の現状および問題点』
(下関商工会議所, 1993 年 3 月)
5. 委託調査「繁栄期の下関」(下関市立大学産業文化研究所, 1997 年 7 月)
6. グローバル化に関する一考察(『名城大学総合研究所紀要』, 第 5 号, 2000 年
3 月)
7. 移動と定住—東北・北海道アイヌの物語(名城大学経済・経営学会講演会,
2013 年 12 月 5 日)